

第1回 祥雲探究祭開催!!

年次を超えた探究が始まった 祥雲2020

三田祥雲館初の試み
3年次生全員発表
2, 3年次生の研究交流
東大教授の講演会



令和2年9月17日(木)

テーマ 伝えよう 疑おう 語り合おう

第1部 3年次生の課題研究口頭発表

1回15分の発表 全93本・24教室 全校生が聴講

第2部① 1年次生対象オンライン講演会

「研究者はエクスプローラー：その魅力と使命」
東大教授と3年次生有志によるパネルディスカッション

第2部② 2年次生の課題研究中間報告

2年次生の発表に3年次生がアドバイス
関学総合政策学部・理工学部講師からの指導助言

第3部 3年次生の課題研究ポスター発表

1回12分×3回の発表 全93本・24教室 全校生が聴講

第1・3部 3年次生課題研究発表



第3部のポスター発表が印象に残っています。1部の発表は言いたいことが抜けてしまうのが心配で原稿を何回も見ってしまったけれど、回数を重ねると慣れてきて、原稿を使わずに発表することが出来て良かったです。興味を持って質問をしてくれる人が沢山いて、とても楽しかったです。(3年次生)

物の考え方は1つでないと言うことと、伝え方1つで人の心を動かすことができると感じました。私は正直、理系の探究は聞いてもわからないと、偏見や今までの考え方だけで勝手に嫌っていた部分がありました。でも、文系、理系を問わず誰にでもわかりやすく伝えていたので、もっと聞いてみたいと興味が湧くぐらい惹きつけられました!(2年次生)

最も印象に残ったのは第1部の3年次課題研究口頭発表です。どれもしっかりとした目的をもって研究されていて、真摯に探究に向かう姿勢というものに感動したからです。僕が3年次になって、あんなにもしっかりと研究ができるかが心配です。(1年次生)

第2部① 1年次生対象講演会

オンライン開催



講演の中で「基礎をまぜしておく。そうしたら興味のあるものにも挑戦できる」とおっしゃっていたことが印象に残っています。(1年次生)

第2部② 2年次生課題研究中間報告



先輩方や関学の先生からの助言がすごく勉強になりました。班員では気づかなかったことを気づかせてくれるすごくいい時間でした。今後の探究活動に活かしたいと思える貴重な意見交換ができたと思います。(2年次生)

同じような研究をしている後輩にしっかりアドバイスができる機会がなかったから、この時間があってよかったと思いました。(3年次生)

3年次生課題研究優秀賞

- ・星形ナンプレの初期ヒント最少個数
- ・小野小町の実像
- ・繫げよういのちのボタン
- ・エチレンガスを利用した果物の保存方法
- ・思い出のさんだプロジェクト
- ・大きなダウンフォースを得られる形状
- ・我こそはケチン坊!!
- ・在来種プラナリアの形態変化の解明
- ・What is the Earthquake Early Warning?
- ・ロボット制御におけるビジョンシステム
- ・祥雲館の論文検索



色々な事を調べ発表する事は、将来にすごく役に立つ事だと発表を聴いて感じました。今後も続けていってもらいたいと思います。親子子供の成長が見られる良い場だと思いました。(保護者)

三田のことや子どものことを含めたテーマも多く、自分の将来を見つめると同時に、自分の生きてきた道を振り返ることにもなっているのを感じて感動しました。(三田市関係者)



三田祥雲館高校では、
探究活動を通して

「自ら学ぶ力」

を身につけます

学びの基礎力

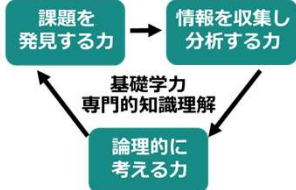
主体的に学ぶ力 他者と協力する力 計画を立て実行する力

「自ら学ぶ力」を3×3に分解

学びを活かす力

文章を書く力 プレゼンテーション力 社会に関わる力

学びを深める力

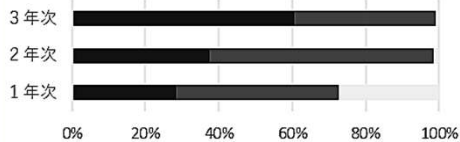


「探究祭」生徒アンケートより

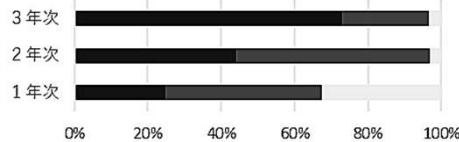
◎探究祭までの取り組みを振り返った自己評価

■よくできた ■できた □あまりできなかった

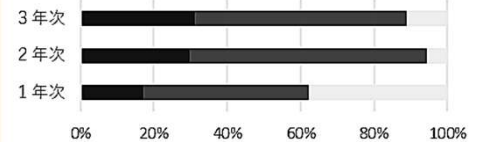
課題解決に向け主体的に行動した



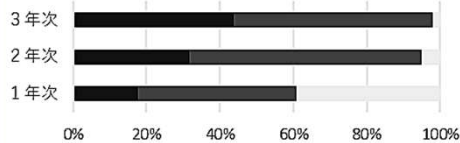
対話を通して議論を深め、他者の手助けをした



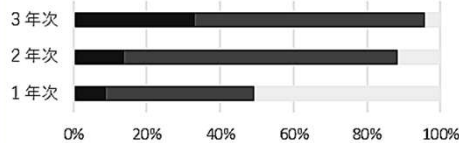
目標達成のための計画を定めて行動した



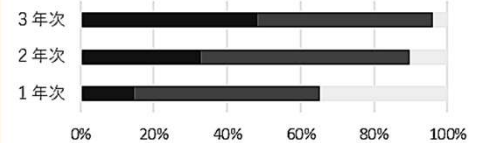
情報源を精査し必要な情報を収集、分類し役立てた



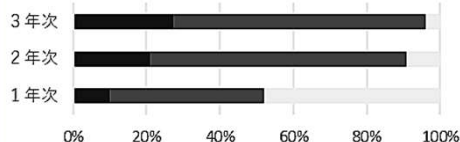
情報の因果関係を整理し順序だて関係性を見いだした



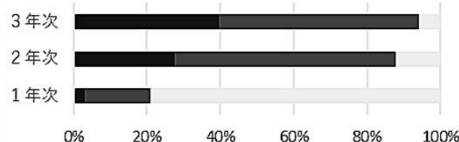
柔軟で多様な考え方により新たな課題を設定した



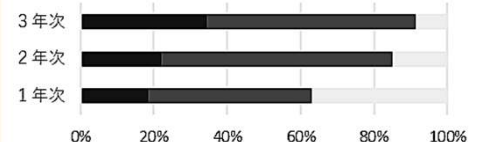
考えを伝えるために、文章を論理的に正しく書いた



自分の考えを口頭で論理的にわかりやすく伝えた



社会や自然の問題を自分事として捉えて考えた



◎探究祭までの取り組みの中で自分が変化したと思う点、今後の課題

学びを活かす3年次生

いろいろな視点から見る力が養われたと思う。
人前で話すことが楽になった。
なぜそうなるのか、などを考える癖がついた。
考えるだけでなくまず行動に移す事を意識するようになった。
他人のために今何をすべきかを考える力がついた。
科学に対する苦手意識が消え、身近に感じるできるようになった。
身の回りで起きていることの仕組みや原因に興味を持つようになった。
物事をより細かく比較するようになった。
答えられない質問があり、考えきれていないと思った。研究もまだまだやりきれていない。
自分達が長い時間をかけて考えたことを、わかりやすく短時間で聞き手に理解してもらえよう能力を向上させる必要があると感じた。

学びを深める2年次生

探究活動のモチベーションが上がった。
データに本当に根拠があるかどうかしっかり調べるようになった。
自分の意見を班のメンバーに伝えられるようになった。
自分の考えたことを否定せず、何でも言うべきだと考えられるようになった。
いろいろな発表を聞いて考え方の幅が広がった。
先輩からアドバイスをもらって、やる気が増した。
自分のすべきことが明確になった。
早めに動かないと時間が足りなくなってしまうと言われる、具体的に何をいつまでにやるなどの計画を立てようと思った。
今まで私たちが行ってきた探究活動は、片方の視点からしか考えられてなかったの、これからはもっと違う角度や目線から考えて、より良い探究活動にしていこうと思った。

基礎を固める1年次生

2年後、先輩みたいな発表ができるよう頑張ろうと思うようになった。
研究は思った結果を得られないことも多いから、それで終わるのではなく、なぜこうなったのかを考えることも大切だとわかった。
いろいろなことに対して「もっと知りたい」と思えるようになった。
なんでもそのまま聞くのではなく、なぜそうなるのか自分で考えるようになった。
今までは探究について消極的な部分があったが、先輩方の発表を聞いて自分はどんなことをしたいかと考えられるようになった。
幅広い分野の本を読みたいと思った。
研究目標の設定が、一番最初の課題かつ一番難しい選択であると思った。一緒に回った友達と意見を出し合いぼんやりと目標を見つけられたので、どんどん調べていきたい。